

北田・大手町商店街

(北田・大手町商店街振興組合)

鹿児島県鹿屋市

！取組のポイント

「水と緑と文化が融合した人に優しい湧水商店街」をテーマに、多様な実施主体の声を集約した商店街づくりへ。

取組の背景

顧客アンケートから今後の方向性を検討

2007年4月、北田・大手町商店街に隣接して開設した複合交流センター「リナシティかのや」は年間約140万人の集客があるが、商店街への回遊性の向上が図られていない。

また、1979年度に改築された商店街のアーケードが老朽化し、崩落の危険があることから、上屋の撤去が喫緊の課題となっていた。

来街者アンケート調査の結果、地域住民が商店街に望むキーワードは「湧水」、「緑」、「文化」、「食」や「リナシティかのやからの誘導導線の整備」、「街路灯又は防犯灯の設置」、「防犯カメラの設置」などに集約された。また、市民参加型イベントの開催、休憩所の設置、子どもたちが集まれる場所の確保、既存の公園などの活用など、商店街の清涼感と潤いの演出及び安全・安心な環境に配慮した商店街の整備が望まれていると分析している。

取組の内容

様々なイベントや施設を設置した「優しい」商店街の設計

地域商店街活性化法の認定を受け、「水と緑と文化が融合した人に優しい湧水商店街」をテーマに、アーケード(パーゴラ形式)改築、ナノミスト設置、LED街路灯設置、放送設備設置、防犯カメラ設置を実施。さらに、住民アンケート調査、歩行者通行量調査、子育て支援施設ニーズ調査などの各種調査事業も行い、取組に生かしている。

また、地域資源を生かしたイベントの開催など、商店街の機能強化と活性化を目指した取組を行っている。例えば、5月のリナフェスタ、7月の六月燈(地域の夏祭)、8月のリバーサイドビアパーティ・夏まつり、11月のイルミネーションの飾り付け・新酒まつり・秋まつり、12月のクリスマス大パーティなどのイベントを様々な団体と連携し開催することで、集客に努めている。

ナノミスト・グリーンカーテン



新酒まつり(歩行者天国)



2016年1月には、商店街の回遊効果を高めるため、空き店舗において、街のにぎわいづくり協議会(鹿屋市が店舗運営を委託)、かのやんがー(鹿屋市在住女性グループ)と連携した市民協働ショップ「KITADA SARUGGA (キタダ サルugga)」をオープンし、商店街はそのビルの管理運営を行っている。「KITADA SARUGGA」は「創業・起業を目指す女性や若者を支援・育成する拠点及び中心市街地の歩きたくなるまちづくりの活動拠点」をコンセプトとしており、地域社会への貢献が期待される。

「KITADA SARUGGA」



取組の成果

イベントの魅力、告知力が増大

複数の団体と共同でイベントを開催することでイベントは大型化し、魅力も大きくなり、告知力も増大した。商店街が前向きに取り組みはじめた熱意が、若き後継者たちにも伝わり、地元を離れていた後継者が戻ってきたという例も出てきている。

ハード事業やソフト事業を実施することによって、市民の方々の商店街への注目度や期待感が高まり、他団体による単独イベントも開催されるようになってきた。また、「KITADA SARUGGA」の開設により、イベント時における「リナシティかのや」からの回遊性も高まってきた。

実施体制

中央地区青年部及び街のにぎわいづくり協議会の委員は、若者を中心に構成されており、若者の意見を反映しながら企画運営を行うことによって若者が参加・集客するイベントの開催や計画づくりを進めることができています。若手は中央地区青年部に26名が参加し、女性も街のにぎわいづくり協議会に4名の委員が参加している。

市民協働ショップ「KITADA SARUGGA」は、街のにぎわいづくり協議会が店舗運営、かのやんが一層が店舗内でのイベントなどの企画を行うことで、連携しながら事業を進めている。(2016年度からは、街のにぎわいづくり協議会に代わって北田・大手町商店街が店舗運営を行う。)

基本データ

所在地	鹿児島県鹿屋市北田町
人口	約10万人(鹿屋市)
電話/FAX	0994-45-6004/0994-45-6021
関連URL	http://ja-jp.facebook.com/kitadasyoutengai
会員数	14名
店舗数	10店舗(買回り品小売店3、最寄品小売店2、飲食店3、その他2)
商店街の類型	地域型商店街
主な客層	会社員、主婦、学生・若者

キーパーソンからのコメント

北田・大手町商店街振興組合
理事長 前田 数郎



地域資源を活かす取組

取組のポイントは、中心市街地の活性化の核施設として整備された「リナシティかのや」から商店街への回遊性が図られず活性化に至っていないことや、アーケードの屋根の老朽化が著しく崩落の危険もあったことから、屋根を撤去しパーゴラ形式に改築して、地域資源である「湧水」、「緑」を活かした安全・安心で人に優しい歩道空間の整備に努めたことです。

また、ソフト事業は、組合員が少ないことから、市民や各種団体などの協力を得て、市民参加型のイベントの開催に取り組みました。

活動拠点としての機能強化に向けて

今後は、グリーンカーテンと併せて花の植え付けなどを行い、商店街の環境整備に努めるとともに、「KITADA SARUGGA」の2階に子どもの支援施設を含めた交流の場を整備し、「歩きたくなるまちづくりの活動拠点」の機能を確かなものにしていきたいと考えています。

また、鹿屋市や街のにぎわいづくり協議会、株式会社まちづくり鹿屋などとの連携と市民の参加を得ながら、イベントやワークショップなどを開催するなど、来街者の増加、回遊性の向上に努め、商店街の活性化に取り組んでいく所存です。

商店街概要

北田・大手町商店街は、昭和40年代に北田銀座街としてアーケードが設置され、大隅半島の経済の中心、物資の集散拠点、広域的な交流拠点として発展した。しかし、昭和50年代後半になるとモータリゼーションの進展などにより郊外部への大型店舗の進出が相次ぐとともに、中心市街地の人口減少により、衰退化が顕著になった。このような中、地域商店街活性化法の認定(2012年4月13日)を受け、湧水を活用したナノミストの設置や緑化事業、各種イベントの取組、フェイスブックによる情報発信を行いながら、商店街の活性化を図っている。